



起震車

# せい わ あ

藤枝市中ノ合26-1  
医療法人社団 <sup>しまかい</sup>八洲会  
**誠和藤枝病院**  
〈054〉638-3111(代)

診療時間  
月～金  
午前 9:00～午後 5:00  
土曜日  
午前 9:00～正午12:00

## 「冬場の院内感染対策 についてのお願い」

誠和藤枝病院  
院長 浅川建史

インフルエンザや普通感冒などの感染症が成立する要件として、①病原微生物、②感染経路、③宿主(被感染者)の3点があります。①病原微生物の中に、これからの季節に活発に活動するインフルエンザやノロウイルスのような、数が多いか、感染力が強いか、または毒性が強いものがあります。③宿主について、若く頑健な免疫力の強い人ではなく、肺炎や糖尿病などの基礎疾患を持った極端に免疫力の弱い患者様が大勢いることが、当院の問題なのです。厚労省も、このような高齢者施設に対して感染対策指針を示していますが、私たち病院職員が、日々取り組んでいる保険衛生業務として、面会の方々に、是非お願いしてご協力を得なければいけない事があります。

流行期でなくても、全ての手に触れる生体物質や口からの飛沫などには、何らかの病原微生物が存在

していると考え、手洗いやマスクの励行で、自分の体内に侵入させないことはもちろん、周りの環境にばらまかないように心がける事が、②感染経路対策『標準予防策』です。病原微生物は、目に見えないだけに、人によって意識の違いが大きいことが問題です。というのは、各施設の感染予防対策レベルは、意識の低い人のレベルに依存してしまうからです。当誠和藤枝病院では、職種に関わりなく、標準予防策の意義を再確認させ、手技が完璧なものになるよう繰り返し指導しています。

昨年の年末年始には、多くのお見舞い客の衛生指導が徹底せず、当院病棟で普通感冒を蔓延させてしまい、挙げ句の果てに、ノロウイルス感染症が発症してしまいました。病棟閉鎖になって業務が停滞してしまい、多くの患者様に多大な迷惑を掛ける結果となりました。この季節は、予防対策のレベルを上げる必要があります。特にアメニティーを重視する療養型病床で、お願いしにくいのですが、ご家族やお知り合いの方は、暖かい季節になるまでは、他の多くの重症患者様のためにも、不要不急の面会や子供さんの面会は是非避けていただきたいのです。もちろん、食べ物を持ち込みもお控え下さい。玄関と各病棟の入り口では、入念な手洗い、正しいマスクの着用を例外なくお願いいたします。この技術はこれからの新興感染症時代を生き抜く皆様方自身の武器となる事も間違いありません。

私たち誠和の職員は、入院患者様の命と、生活の質(QOL)を守る為に、日々努力しております。どうか私達を御信頼頂き、ご協力を頂きたく重ねてお願い申し上げます。

遅ればせながら、新年明けましておめでとうございませう。本年も、どうかよろしくお願ひいたします。



## 新年のご挨拶と抱負

看護部長 佐藤恵美

新年明けましておめでとう  
ございます。

昨年は、振り返ると10月に  
台風による大雨洪水災害・御  
嶽山の噴火等あり自然の猛威  
を目の当たりにした年で、暴  
れ走り回った午年の影響で  
しようか？

今年は、未年です。ふんわ  
りした毛糸に包まれて暖かく  
穏やかに過ごせる良い年であ  
りますように祈願しています。  
さて私は、平成26年11月に看  
護部長として誠和藤枝病院へ  
赴任してまいりました。

一般急性期の小規模病院で  
39年間を過ごしました。思い  
起こすと消化器外科系に長く  
勤務していました。手術後の  
経過については、データと患  
者様の表情で異常の有無を  
チェックしていました。「目

と手」を最大の道具にして看  
護をしてきました。緊急手術  
は、真夜中にあり日時もわか  
らなくなる位忙しく時を過ご  
していました。そんな中でも  
患者様の回復を願ひ懸命に勤  
務しておりました。

変化にいつ気が付くかとい  
う看護師の観察力・判断力が  
大変重要になっていきます。観  
察力・判断力を曇らせず鈍ら  
せない為には、常に学習をし  
続け専門性を磨く事だと思い  
ます。

そんな生活をしていると、  
時の流れも速いように感しま  
した。

少し業務が落ち着いた時に  
は、もう季節が変わってし  
まっている時もありました。

藤枝の病院に赴任して、緑  
豊かで自然に溢れゆったりと  
時間が過ぎる環境の中で仕事  
が出来る事への幸せを感じて  
います。

四季折々の変化を肌で感じ、

鳥の鳴き声が響き、空気も澄  
んでいる。こんな環境を最大  
限活用して入院生活を心穏や  
かに過ごして頂けるように寄  
り添い、手厚い看護・介護を  
提供出来るようにしていく為  
に看護職員のコミュニケーション  
能力をアップする勉強  
会を実施していきたいと思っ  
ています。

それからもう1つ。患者様  
の対応について、「ユマニ  
チュード」の導入を考えてい  
ます。これは認知症ケアの新  
しい技法として注目を集めて  
います。ある本には「この本  
には常識しか書いていません  
しかし、常識を徹底させると  
革命になります。」との記載  
もあります。超高齢化時代と  
認知症患者の増加もあるので、  
攻撃的になったり徘徊するお  
年寄りを「こちらの世界」に  
戻す様子を指して「魔法のよ  
うな」とも称されています。  
しかし、これは伝達可能

な《技術》です。「見る」・  
「話す」・「触れる」・「立  
つ」という看護の基本中の基  
本を精神論でもマニュアルで  
もないコツがあるという本を  
教材にして日頃の看護・介護  
の場面を振り返り、皆でデイ  
スカッションしながら看護に  
ついて語れる場面を多くして  
いきたいと考えています。

常に前を向いてより良い看  
護を、患者様に提供出来るよ  
う努めていきたいと思ってい  
ます。





# クッキング



# さつまいも掘り



# 防災訓練





## 介護支援センターでは

誰もが地域で自分らしく暮らせるように

センター長 石川 美幸

病気や高齢者になっても住み慣れた場所で自立した暮らしを安心して送りたいと誰もが願っています。利用者様の希望や心身のご容態にあわせたその人らしい暮らしが継続できるようお手伝いさせていただきます。

### ☆主な仕事は…

ケアマネジャーは利用する方々の立場に立って、主に次のような仕事をしています。

- ・ サービス利用の相談、アドバイス
- ・ ケアプランの作成、見直し
- ・ 要介護認定などの手続きの代行
- ・ 介護サービス提供機関との連絡、調整

### ☆皆さんの介護の「困った」にお応えします！

こんな時にご相談ください。

- ・ 脳梗塞や骨折で入院中…退院を勧められたけど、これからどうしたらいいの？
- ・ このごろ物忘れが目立つようになってきた…予防していきたい
- ・ 家のふろの浴槽やトイレへの移動が転びそうで怖い…何かいい方法はないかな？
- ・ 生活意欲がなくなってしまった、家でTVを見てずっと座っていることが多い
- ・ 交流をしたいけど一人では出掛けられない…など

皆さんのまわりに悩んでいる方はいませんか？

私たちが、皆様の介護の不安を安心に変えられるよう丁寧にお応えさせていただきます。

介護に関するご相談・疑問・ご質問は、お気軽に介護保険センターまでご連絡ください。

## 職 員 募 集

- ◎ 正・准看護師
- ◎ 介護職員

詳しいお問い合わせは(054)638-3111 担当 事務長まで

## 編集後記

新しい年のスタートです。皆さん今年はどうな抱負をお持ちですか？

未年もまた心新たにいろいろな事にチャレンジしてみましょう！

今回も院内報の編集にご協力いただき、ありがとうございました。

